

美的感性研究会

Special Interest Group on Aesthetic and Affective Science

<https://color-science.jp/sigaas/labnews/>

主査 浅野 晃 (関西大学)

{e-mail} info.sigaas@gmail.com

“美”に関心をもった人が集まり、情報交換、学術的探求、実践的展開に取り組みます。

◆研究内容及び研究会の構成

美的感性研究会 (Special Interest Group on Aesthetic and Affective Science, 略称 SIGAAS (シガース)) は、2023 年 5 月に発足し、今年 3 年めを迎えています。本研究会は、“美”の本質についての学術的な探求と、まちづくり・ものづくり・ひとづくりなどへの実践的な展開とを両輪で進め、22 世紀の社会創造につながる活動に取り組みます。会員の専門分野は環境、建築からアパレル、教育、アートなど多岐におよび、工学やデータサイエンスから心理学、脳科学まで、さまざまなアプローチで研究を進めています。

これまで、講演会の開催、見学会、研究会大会での発表、学会誌への寄稿などを行いました。今後もこれらの活動を進めていきます。

◆2024 年度の活動報告

○見学会の開催

2024 年 10 月に、篠森 敬三幹事と渡邊 千穂幹事が案内人となって、高知での見学会を開催しました。

日 程：2024 年 10 月 26 日 (土)、27 日 (日)

参加者：12 名

見学先：

- ・絵金蔵 (香南市赤岡町)
- ・海洋堂 SpaceFactory なんこく (南国市)
- ・穂岐山刃物 (香美市)
- ・井上手漉き和紙工房 (土佐市)
- ・にこ淵 (いの町)
- ・名越屋沈下橋 (いの町)

1 日目の最初は絵金蔵を訪問し、元は狩野派の絵師でありながら事件に巻き込まれて野に下った、「絵金」こと絵師金蔵が遺した芝居絵と、かつての商都・赤岡の街並みを見学しました。次の海洋堂 SpaceFactory は、フィギュアで有名な海洋堂が、創業者が南国市の出身であることでこの場所に設置している展示館で、展示されているフィギュアのほか、制作の現場も見学しました。さらに、穂岐山刃物では、100 年を超える歴史をもつ同社と土佐打刃物の説明をうかがい、工場内を案内していただいて制作現場を見学しました。

2 日目は、土佐市の井上手漉き和紙工房からスタートしました。ここでは、和紙作りの工房を見学するだけでなく、手漉きの作業体験や、繊維を延ばして和紙の飾りフレームを制作する体験をしました。最後は、仁淀川の美しい青「仁淀ブルー」の体験として、8 月のオンライン講演会でご登壇いただいた仁淀ブルー観光協議会の西岡 由紀さんのご案内で、滝壺に青色が映える「にこ淵」と、仁淀川にかかる名越屋沈下橋を見学しました。

○「美的感性オンラインカフェ」の開催

会員の話題提供をきっかけに会話を楽しむオンライン交流会です (約 60 分)。

第 6 回：2024 年 11 月 26 日 (火)

①「高知見学ツアーの様子をご紹介」見学会参加者
第 7 回：2025 年 1 月 23 日 (木)

①「関係人口」坂本 隆幹事 (産業技術総合研究所)

②「発酵文明」林 英光会員

第 8 回：2025 年 3 月 15 日 (土)

①「声の音色を科学する - 生き方が何故声に現れるのか？」森山 剛会員 (東京工芸大学)

②「アニメーションの色彩 質感と前後感 - 個人的な見え方」森友 令子幹事 (大阪芸術大学)

○研究会大会での講演会企画

2024 年 11 月 30 日 (土)・12 月 1 日 (日) に開催された日本色彩学会「令和 6 年度秋の研究会大会」において、坂本 隆幹事の提案により美的感性研究会・色覚研究会共催講演会として「顔を探求する：科学で解き明かす顔の知覚・認知・感性」を企画し、下記の 4 件の招待講演を行いました。

- (1) 肌の色が顔の見えに与える影響の国際比較、何 元元氏 (宇都宮大学)
- (2) 何故モナリザは左向きなのか？～顔らしさが左向き選好に及ぼす影響～、谷山 祐真氏 (産業技術総合研究所)
- (3) ヒト型エージェントに対する否定的応答生成過程を説明する計算モデル～不気味の谷現象の理解に向けて～、田和辻 可昌氏 (東京大学)
- (4) 絵文字でココロを探る～絵文字による感情測定の可能性～、沓澤 岳氏 (産業技術総合研究所)

◆2025 年度の活動計画

今後、下記の見学会・講演会を企画しています。

○見学会

日 程：2026 年 2 月 22 日 (日)、23 日 (月祝)

テーマ：常滑 (焼き物のまち) と半田 (蔵のまち) の美と知多半島の発酵文化をめぐる旅

○講演会

日 時：2025 年 12 月 13 日 (土)

テーマ：声の音色を科学する - 生き方が何故声に現れるのか？

講演者：森山 剛会員 (東京工芸大学)

会 場：名城大学 + ハイブリッド (zoom)



井上手漉き和紙工房にて、各自が制作した飾りフレームと。